

- ・コラム「かけがえのないドラマ」
- ・お知らせ（開店時間変更、地元テレビで紹介、菌床ブロック寄贈）
- ・太陽と緑の会助成事業報告
- ・スタッフ雑感（宮浦 正浩）
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2008年11月 128号

－「かけがえのないドラマ」－

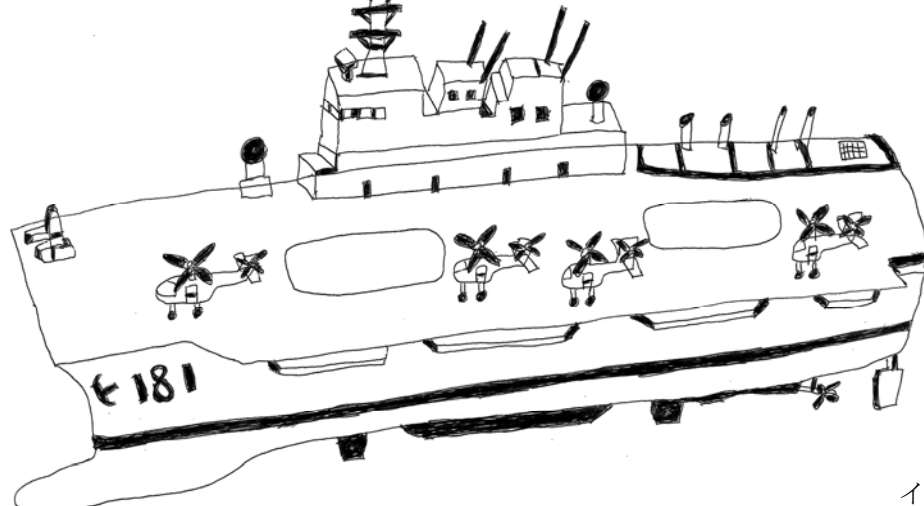
杉浦 良

「十年間、徳島市北島田町で、弁当作りに取り組んできた社会福祉法人ハートランド『あっぷる』が、先日閉店しました。『あっぷる』は精神に障害を持つ方々の福祉事業所で、今後は徳島市籠屋町商店街の喫茶店『あっぷる』に、弁当業務を移し統合する事で、効率化と事業の充実を図ろうとしています。11月中には、新しい場所での弁当作りが再開されます。

精神に障害のある人たちにとって、薬を飲みながら、発病前のように、一日中バリバリやる事はなかなか難しいことです。それでもその時の調子の良し悪しを、自分なりにバランスを取りながら、弁当作りに関わりながら、一日一日を過ごす事が、回復

への近道となります。調子の悪い時は悪い時なりに、調子の良い時は良い時なりに、服薬しながらバランスを取って、気が付けば、仲間達と1年間弁当作りに関わったその積み重ねが、急がば回れの、社会適応実践プログラムとなるわけです。弁当に巻かれたメッセージは、時に軽やかに時に重たく、最後はお弁当を買って下さって有難うございますと、感謝の言葉で締めくくられています。色々あっても、自分達の作った弁当を買ってくれる地域の方々や一般市民の方々がいることこそが、病に引っ張られがちな心を、ピンとさせる唯一の特効薬かもしれません。精神の障害は解かりづらい分、偏見や誤解も多く見られます。解か

ヘリコプター搭載護衛艦ひゅうが



イラスト：藤田さん

りにくいことで疑心暗鬼が膨らみ、地域から排除する方向に向かいがちですが、まずはあいさつしながら、顔をつき合わせてひとこと言葉を交わす事のほうが、むしろ地域のリスクは減ることになります。

十年前に北島田町で場所を提供して下さった大家さんの懐の広い心意気と、そこに弁当を買いに来て下さった地域の方々の心温まる勇気に、どこか息苦しく、心がサクサクしがちな地域コミュニティのあり方の、今後のたどるべき方向を見たように思いました。」・・・先日「地域コミュニティ」と題して、このような駄文を、徳島新聞夕刊に書かせていただきました。

社会福祉法人ハートランド「あっふる」の理事長である山下さんとの関係は、彼が精神病院のPSWをされていた時、私たち太陽と緑の会リサイクル作業所に、1人のメンバーを連れてくることから始まりました。「病院から地域に」という言葉を心に抱きながらも、もどる地域に何も無いという現実、自分の非力と無力を訥々(とつとつ)と語る、彼がありました。病院を辞め、地域の中で集える場所を作りたいという願いも、厳しい現実の前に、何度も頓挫しかかりました。集える場所に合う物件を、見つけては断られ、契約直前で、知的身体の手配りの方なら良いが、精神の方はちょっと・・・、と言われて落ち込む彼の表情を、今でも思い浮かべることができます。しかし、世の中捨てたものではありません。良かったら使ってくださいという、大家さんが現れました。二階建ての一階が店舗だった物件ですが、ただ残念ながら二階への階段がありません。縄バシゴでのぼりおりする現状も、この際、ぜい

たくは敵です。ないないづくしで、バシゴの設置費用はありません。当時、私たち太陽と緑の会のボランティアとして、長年支えてくれていた櫛田さんと工藤さん、そしてメンバーの岡本さんと私で、鉄骨製の階段を設置することになりました。設計と溶接は櫛田さんに、そして共栄鉄作さんで鉄骨を用意していただき、木内工務店さんからエンジン付き溶接機を借りての、大工事です。月の宮作業所で溶接し、メインの階段を完成した後、太陽と緑の会のトラックで運搬し、現場での溶接設置となりました。設置後、リユースのアルミの防護柵を安全フェンスに代用し、滑り止めテープを張って、完成となりました。あれから十年、落ちることなく、多くの方々に踏まれ続けた階段も、お役ごめんとなりました。櫛田さんは会社を早期退職して、現在太陽と緑の会月の宮作業所の所長として、工藤さんは相変わらずボランティアとして、高齢になった岡本さんはリタイアして、お兄さんの家で隠居生活をされています。思えばそこに、数多くのドラマがありました。そのドラマが、一人ひとりにとって、かけがえのないものとなりました。



ホット
カーペット

1 畳サイズ
1000 円～
2 畳サイズ
1500 円～

電気アンカ、
電気毛布も
あります。

お知らせ

開店時間の変更

NPO法人太陽と緑の会の開店時間が早くなりました。

これまで午前9時半開店でしたが、午前9時開店となります。

午前9時から午後6時まで、定休日は水曜日のみ、となります。

一人でも多くの方にご利用頂き、ひとつでも多くの品物がリユースにつながれば、と思います。

地元テレビで活動紹介

10月29日、四国放送のニュース番組フォーカス徳島にて、太陽と緑の会のリユース・リサイクル事業やエコハウスシステムが紹介されました。JRTエコウィーク（10月27日～11月3日）にちなんだエコ特集の第3回目で取り上げて頂きました。

10月27日に行われた取材は、昼食もとらずにほぼ1日かかりとなりましたが、高校生の体験実習の様子や市民の皆様のコメントも紹介して頂き、中身の濃い番組になったと思います。取材班の皆様、本当にお疲れ様でした。

菌床ブロック寄贈

徳島市在住の石舟様より、菌床ブロックを150個頂きました。太陽と緑の会月の宮作業所で活用させて頂いています。

菌床しいたけは月の宮作業所の主力農産物のひとつであり、大変助かっております。

このしいたけは肉厚で歯ごたえとコクがあり、市民の皆様からも好評を頂いており、店頭には並ぶとすぐに売り切れてしまう人気商品となっております。販売収入は様々なハンディを持ったメンバーに給料として還元しています。この場を借りてお礼申し上げます。



クリスマスコーナー

クリスマス用品の季節となりました。クリスマスツリー、クリスマスリース、イルミネーション、踊るサンタ人形など、いろいろあります。

見学・体験実習

9月20日午後1時半～4時、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の第2回研修会を、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて実施。徳島県内の作業所関係者他、40名の方が来所。

9月27日午前11時～午後1時、広島県福山市のNPO法人法人びいあらいぶの25名の皆さんが、当作業所に見学のため来所。精神障害者の方を対象とした就労継続支援事業（B型）2箇所及び地域活動支援センター1箇所を運営しているとのことでした。

10月19日、26日の2日間、阿波高校（徳島県阿波市）の高校生が、太陽と緑の会リサイクル作業所にて職場体験実習を行いました。19日は午前9時から午後3時まで高校3年生3名が参加し、実習終了後、リユース・リサイクルやエコハウスシステムについての説明を行いました。26日は午前9時から正午まで高校1年生が参加、実習の様子や感想のコメントがテレビでも紹介されました。

イベント・会議・研修

11月8日午前10時～午後4時、徳島市内にて、「わーくびあフェスタ」（主催：徳島県労働者福祉協議会他）が開催。NPO・ボランティア団体と参加者の交流ひろばに、太陽と緑の会もブース出展を行い、パネル展示など活動のPRを行ってきました。青年長期ボランティアの西村君、メンバーの宇津君、小林君が参加。

徳島市障害者計画・徳島市障害福祉計画策定市民会議に、当会代表の杉浦が委員として出席。（7月18日、10月6日、11月10日）

太陽と緑の会リサイクル作業所所長の小山が5日間に渡る平成20年度相談支援従事者研修に参加、修了。



冬物衣料品 いろいろ

ダウンジャケット、皮ジャン、セーター、コートなど、多数あります。写真で、衣料品担当メンバーの工藤さんが持っているのは、KANGOLのダウンジャケット（黒）1800円です。11月13日現在販売中。

太陽と緑の会 助成事業報告(H18-19)

第28回助成

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙、鉄屑、空き缶、ウエス1キロに対し6円）平成18年度後期分34万8600円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これに緊急助成予備費からの取り崩し4万6400円を加えた39万5000円を各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。

①障害者地域福祉活動への助成

徳島県内の障害者地域共同作業所・地域活動支援センター 3万円×10箇所 計30万円

——地域活動支援センターとして——

ほっとハウス

巢立

アトリエひまわり

いたの共同作業所あせび

すみれあいずみ作業所

ぽてとくらぶ

——障害者地域共同作業所として——

アスカ

スマイル

ほのぼの屋

うめっこ

②国際協力活動への助成

徳島県国際交流協会 5000円

③社会教育活動への助成

社団法人日本青年奉仕協会（青少年ボランティア活動の育成・推進。青年長期ボランティア計画など） 5万円

④その他の活動への助成

日本NPOセンター（NPOの社会的基盤の強化を図る活動） 1万円

シーズ（市民活動を支える制度を作る会） 3万円

第29回助成

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙、鉄屑、空き缶、ウエス1キロに対し6円、廃食油1キロに対して12円）平成19年度前期分39万3000円が太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。

①障害者地域福祉活動への助成

徳島県内の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所 3万円×7箇所 計21万円

——地域活動支援センターとして——

ミント作業所

きらきら星

サルビア作業所

ハッピースマイル

——障害者地域共同作業所として——

うみがめ共同作業所

地域共同作業所 虹

東祖谷共同作業所 愛生

いのちのさと（就労継続支援事業所（雇用型及び非雇用型）・徳島市） 3万円
地域活動支援センター あわっこ（徳島市） 5000円

（社福）徳島県手をつなぐ育成会 5000円
きょうされん徳島支部（障害者共同作業所を舞台とした映画「ふるさとをください」の上映会開催支援として） 5000円

②社会福祉活動への助成

大阪釜ヶ崎出合いの家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動） 1万円

大阪釜ヶ崎喜望の家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動） 1万円
徳島いのちの電話（電話による相談活動） 5000円

関西S T S連絡会（移動・送迎支援活動のネットワーク） 3000円

徳島市社会福祉協議会 5000円

③社会教育活動への助成
 社団法人日本青年奉仕協会（青少年ボランティア活動の育成・推進。青年長期ボランティア計画など） 1万円

④国際協力活動への助成
 ペシャワール会（アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画）
 1万円

日本チェルノブイリ連帯基金（チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援） 1万円

モヨ・チルドレンセンター（ケニアにおけるストリートチルドレンの支援活動）
 2万円

日本赤十字社徳島県支部（ミャンマー・サイクロン災害救援金として） 3000円

日本赤十字社徳島県支部（中国大地震災害救援金として） 3000円

⑤環境保全活動への助成
 NPO法人新町川を守る会（川を守り、水を活かしたまちづくり活動） 3000円
 第4回環境ボランティア交流会 5000円

地球温暖化を考える市民アクション2008徳島（地球温暖化問題のドキュメンタリー映画「不都合な真実」上映会開催支援として） 3万円

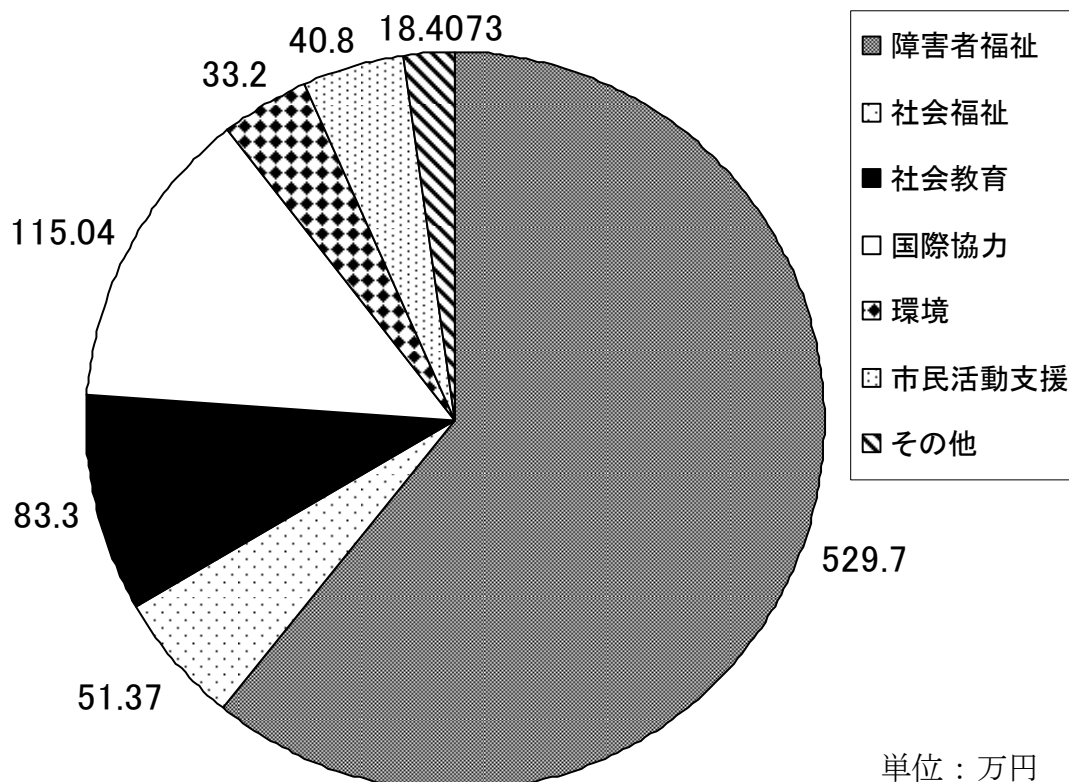
⑥その他の活動への助成
 NPO法人徳島県ボランティア協議会（ボランティア活動の普及を推進する活動） 1万円

⑦緊急助成予備費 153円

残額の847円は振込手数料に充当

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回行っており、助成総額は15年間で計871万8173円となりました（平成20年11月13日現在）。一民間団体としてのささやかな支援事業を今後とも続けていきたいと思ます。

助成対象分野別助成総額（平成5年～平成20年）



スタッフ雑感

この仕事をしていて、コミュニケーションをとることに苦労することがいくつかあります。

ひとつは、外国から来られたお客様との会話。言葉によってコミュニケーションをとる場合、当然ですが、両者の間で使う言語が同じものでなければなりません。でも、お互いに母国語は違います。私の側もお客様の側も、自分の気持ちや要望を、うまく伝える事ができません。どうやってやりとりするのかというと、片言の英語です。上辺は穏やかに接しているのですが、心の中では慌てふためいて必死の形相。しかも、この必死さは、あまり報われることはありません。電化製品の使い方をうまく説明できたと思っても、後日、お買い上げの商品を持参されて、「使い方をもう一度教えてくれ」と、なるわけです。

またひとつは、同僚とのコミュニケーションです。お互いが、どれくらい相手の言葉を聞いているのか。どれほど理解しているのか。これを感じる必要があります。30人寄れば、30通りの感性があるわけで、その感性に合った話し方聞き方を試行錯誤して探さなければなりません。

このように、毎日の活動の中でコミュニケーションのとり方に難儀している私ですが、足し算と引き算をうまく使えば、案外、コミュニケーションを上手に取れるようになるのだな、と感じるようになりました。

足し算とは、言葉の種類や、言葉の使い方を増やして、意思疎通をはかりやす

くすることです。たとえば、英語を覚えると、外国から来られたお客様との会話がスムーズになります。

一方、引き算とは、相手に不愉快を与えるコミュニケーションを、自分のなかから排除していくことです。たとえば、手で追い払うようにシッシツとするだとか、言葉遣いは正しいのに口調はおざなりだとか、いろいろあります。これらの、不愉快だと感じた相手の応対を自分の応対に使わないこと、これが引き算です。コミュニケーションは、互いを理解するためのものであるはず。相手を怒らせては、何のためのコミュニケーションなのかわかりません。

どちらも、コミュニケーション能力の上達に一役買ってくれます。そのうえで、自分の気持ちや要望を、表情や、口調や、身振り手振りなどの、態度で表す、「気持ちと態度の一致」の実行が欠かせません。ごめんなさいと口にしても、口調が平板であっては火に油を注ぐようなもの。人は、相手の態度を、言葉よりも優先して受け取るのでしょうか。日本人が深々と頭を下げ謝罪の態度を見せることは、別に変な行動じゃないのだと私は思っています。

そういうわけで、とりあえず明るく元気な態度で接すると、外国の方相手でもなんとかなることが多い気がしています。電化製品の操作が解らなかったお客様も、「OK！OK！まあいいよ」と、笑ってくれました。ありがたいことです。だからもう少し、足し算（英語）の勉強をしなければな、と思っています。

（専任職員 宮浦 正浩）

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2008年8月1日～2008年9月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

藤田 智恵子、小畑、匿名、松浦、三好、バルネケ、吉田 哲治、匿名、米田、生島

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○大下、佐藤、大野、鈴江、佃、伊野、東山、徳島北高校、岩城、岩野、前林、十川、矢野、藤井、赤松、富田、坂東、早川、脇坂、斉藤、岩根、藤田、武井、溝口、梅本、吉岡、山口、太田、酒井、藤黒、中川、横山不動産、新野、津森、谷口、布川、森、大串、前谷、川崎、高藤、中井、清水、三木、富本、島浦、端野、大坂、新井、島、西山、川瀬、岡田、高田、カンガルー歯科、両角、藤永、石本皮膚科、森本、木村、児野、松永、小見、月岡、大串内科、宮城、田中、角、しおつ印刷、原、近藤内科病院、小川、後藤、井端、米原、八巻、福田、あさび、住友、伊藤、野村、立石、平野、川上、以西、黒川、池永、兼久、ガッツファミリー、北野、谷川、郡、長谷部、七條、東京美容院、西條産婦人科、吉田、小賀野、大森、山下、真鍋、生島、日ノ出、林、今井、長浜、中村、佐野、森脇、木下、安陪、長谷、久穴、山内、渡辺、松本、鎌田、松原、村沢、田浦、能田、小倉、米沢、(株)エーテックス、藤、勝野、村上、団、市原、松浦、佐川、内田、岩佐、坂垣、久保田、百瀬、諏訪、美馬、伊東、椎野、木内、馬淵、楠根、仁尾、吉川、杉山、佐々木、富岡医院、北谷、古川、林別館、こおり接骨院、石田、鴻崎、矢部、毛利、山本、北川、増田、原崎、中岡、岩川、臼井、高橋、細川、小林、柴田、大西、阿部、南部、浜口、うな久、神崎、岡川、藤本、幸田、池本、中尾、内藤、菜の花徳島、小畑、アイ美容院、坂東塗装、池永、宮本、城東高校、世良、はぜやま、乃一、増谷○藍住町○幸崎、谷崎、森、畠、谷、黒川○鳴門市○黒田、浜、久龍、畠、井上○小松島市○田中ミシン電気、山下、佐々木、大下、赤とんぼ、木下○北島町○結城、渡辺、小寺、藤田、小西○石井町○毛利、大北、遠藤、友成、脇田○阿南市○武市○吉野川市○角、宮城、近藤、松下○板野町○木村、橋本○上板町○原田、名倉○藍住町○日下、西岡○松茂町○高橋

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○鶴熊、高木、多田、笹山、寺井、早藤、早原、永井、大上、永戸、安崎、河田、中野、山本、北島、富島、和泉、林、玉野、鎌田、田中、阿部、知野、黒嶋、福家、藤田、吉岡、高源、鈴江、猪児、浜井、杉本、川上、岩本、橋本、松田、元木、長浜、野口、宮内、柏野、伊丹、荒井、大畠、細井、渡辺、奥村、松島、仁木、大隅、武田、沢田、山口、武市、三木、岡山、村賀、中西、石田、炭田、中林、西尾、牧、竹村、香川、岩根、村上、奥野、高橋、和田、湯浅、田村、吉成、井坂、斎田、前田、甚上、中島、石原、米倉、斎藤、小田、宮崎、手塚、大和、矢部、福田、高松、樋口、堀、藤守、北野、石山、鉄谷、楠見、長尾、井上、久米、宮下、川端、藤澤、中田、宮城、木村、松村、八木、中村、原、藤本、小瀬、藤高、東、杉浦、下田、豊岡、大島、福井、谷崎、梶田、日浅、藤城、若山、村本、井貝、吉田、石井、白川、地面、久次米、浜田、岩田、鳥居、西森、金沢、釜床、山田、児島、寺奥、吉本、佐藤、小山、原田、黒上、蔭山、豊崎、折野、生田、毛利、谷井、内原、村瀬、坂東、漆原、森本、大北、豊田、滝本、井出、木内、久保、井原、広長、西野、浦山、中川、荒木、小路、井形、鰻谷、岡島、大塚、落合、藤岡、松浦、秋山、岸、寺内、正木、武知、上田、柏原、一宮、山城、福永、前羽、斎、小川、北川、四宮、近藤、川田、大石、氏家、山川、加納、笠井、吉永、前林、横田、川崎、平岡、表原、大久保、大貝、谷口、岸本、南場、平山、高田、植林、ワークスタッフ小池、大西、加藤、岡本、象瀉、大黒、吉川、十河、島本、佐々木、松本、宮本、市原、久米川、長野、北村、富林、隅田、梅本、福盛、大岩、織田、町田、労福協なのはなヘルパーステーション、金本、中園、立石、野村、楠本、一心運輸、望月、上里、中山、出葉、菅原、景行、福島、檜本、藤原、三宅、村口、青井、Bouar、Robter、細川、北條、飯田、浅川、酒巻、合田、星山、団、美馬、森田、井本、杉原、曾川、小林、友成、新開、黒川、米澤、宗本、河野、福住、力安、松尾、奥野薬品、西、岩城、メディカルリラクゼーション、後藤、友竹、柏岡、酒井、武岡、境、江原、宮井、池村、マックハウス徳島国府、志津、多田、森、村田、富永、富崎医院、柳沢、山形、日下、富尾、厚美、井内、

堺、森崎、斎、阪東、岩野、住友、桑原、鹿児島、笹原、小林、陽地、明石、姫野、粟谷、横田、工藤、稲実、安芸、小松、浅野、牧野、喜多、林、西岡、杉井、猪岡、佐野、遠藤、楠、寺田、西原、武中、矢野、梶井、米田、三馬、国本○鳴門市○蔭、富崎、西村、赤松、岡久、畑中、大江、足田、吉田、黒岩、大石、畑中、松本、中西、野村、四十宮、松田○阿波市○田中、大崎、渡辺、田浦、中西○板野町○森、佐々木、井上、能野○藍住町○片山、森、北口、上崎、井上、山口、楠本、上崎、小西、山本、寺内、土井、仁木、オフハウス、楠本、川上、高田、広瀬、和田、藤川、岡久、山川、大西、万藤、鹿児島、市原、三好、山田、岡田、南本、船越、田端○阿南市○中山、村井、北島、四宮、阪野、浜口、中野、大城、美馬、環○東みよし町○吉本○三好町○尾本○松茂町○朝井、篠原、佐藤、中西○石井町○松永、葉坂、山西、後藤、久米、山尾、田中、坂本、竹内、南、近藤、富山、以西、高橋、河野、原田、坂口、武市、佐倉、加藤、松月、中村、出口、尾池、藤田、福島、片山、石根○北島町○岩本、清水、秋野、坂野、萩原、佐川、塚本、多田○吉野川市○中西、福田、梶山、深見、住友、田中、青木、井元、片岡、渡部、田村、梶山、麻植、加本、原田、出口、大久保、長瀬、足立、山西○小松島市○新居、下山、雲井、向井、竹島、古山、堀淵○神山町○森本、藤川、中原、天野、高橋○美馬市○大西○上板町○原、森、飯田、天野、西岡、松岡、近藤○阿南市○村○美波町○内原○広島県○NPO法人びいあらいぶ、久次米○香川県○吉村○京都府○井上、藤原、木村○神奈川県○石黒○福島県○小野○兵庫県○長野



本のコーナー（新館）

小説、学術書、ビジネス書、実用書、文庫、マンガなど、表示定価の3分の1で販売しています（一部の骨董本は除く）。毎月第2・第4日曜日には特別セールも行っています。青年長期ボランティアの西村君、メンバーの田村君、宇津君が整理を担当。

編集後記～コミュニティ・ビジネス～

「コミュニティ・ビジネス (Community Business)」という言葉をご存知でしょうか。地域社会の課題を市民が主体的に「ビジネスの手法」を用いて解決する取り組みです。

太陽と緑の会の事業もコミュニティ・ビジネスではないか、と言われることがあります。皆様はどう思われますか？

太陽と緑の会は一般市民の皆様から品物や資源ごみを無償で頂き、リユース(再使用)もしくはリサイクル(再資源化)しています。

無料で頂いた品物を有料で販売すると、儲かるように思われる方もいらっしゃいますが、実際はそうではありません。利益を追求するのであれば、品物を有償で買い取り、店舗維持経費、人件費、利益を含めた価格で販売する、という方が合理的です。

その方が利益につながる品物を効率的に集めることができ、ずっと儲かります。このため一般のリサイクルショップさんは、通常この買取方式をとっています。

太陽と緑の会があえて無料引取方式をとっているのは、様々なハンディを持ったメンバーが関わるようにするために

す。ここでは「まだ十分使えるけれど、リサイクルショップでは買い取りしてもらえない品物」も、手間ひまかけてリユース・リサイクルにつなげていきます。

その過程には、品物の引き取り・仕分け・磨き・包装・値札付け・陳列、店内の整理・清掃、接客・レジ、資源リサイクルのための選別・積込・搬入など、様々な種類の作業があり、ハンディを持ったメンバーがそれぞれ担当の作業を任されています。

ハンディを持ったメンバーが活けると同時に物も活かされます。

以前、軽トラック一車分の本を提供して下さった市民の方がこのようなことをおっしゃっていました。

「古本屋に買い取りの査定に来てもらったんや。そしたら『これはいくらいくらになるけど、それはあかん、これもあかん』と、うるさいこと言うけん、追い返したった。おたくだったら、ありがとうございまして言うて全部引き取ってくれるけん、おたくに取りに来てもらったんよ。銭にならんもんも、ようけあるけん、昔の貴重な本もあるけん、活用してよ」

ありがたいことです。(小山)

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・地域共同作業所とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
TEL・FAX 088-642-1054
(不用品リユース・地域活動支援センター)
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703
※この機関誌は再生紙を使用しています。